

計画対象年度	平成26年度		事務事業評価シート					事業類型	補助事業		
事務事業名	中小企業対策事業（政策）							根拠法令			
予算科目	会計	01	款 07	項 01	目 02	事業 03	要求区分 政策経費				
総合計画体系	第4章 活力ある産業を育てるまちづくり							総合計画対象	対象		
	第3節 商工業の振興							市民協働	市民主体		
	[1] 商工業							担当課係等	観光商工課		
事業期間	継続（年度～）								観光商工担当		

現状把握の部（D0）

【目的】	茨城県、茨城県信用保証協会、市が連携し市内の中小企業者に対する事業資金の融資とこれに関する保証をあっ旋し、市内中小企業者へ円滑な融資を行い、健全な経営確保を図る。		【関連事業】		
【期待される効果】	市内中小企業者へ円滑な融資を行うことにより、健全な経営確保に繋がる。		【対象者】	中小企業者	
【全体概要】	金融機関への預託により自治金融の融資を低利で融資を行い、さらに利子補給を年利1.2%を36か月間を限度として補助し、さらに、信用保証料を全額補助をすることにより中小企業の経営安定化を図る。また、中小企業金融制度を利用した企業者が、万が一、借入金の返済が困難となった場合は、損失補償寄託金により、保証協会が中小企業者に代わって金融機関に代位弁済をする。		【特記事項】	リーマンショックの世界同時不況があり、中小企業の資金繰り対策として自治金融利子補給制度を平成20年に改正し、平成21年度から保証料の全額補助を行った。その後、平成25年度から借入限度額等を改正し、さらに、融資金利が低利となり利用者が急増した。長年に亘り自治金融利子補給制度を実施してきたが、融資金利が低利となったため、平成27年9月から廃止する。	
【平成25年度 事業内容】	資金あっ旋利子補給金、資金あっ旋保証料補給金、自治金融預託金、茨城県信用保証協会損失補償寄託金	【平成26年度 事業内容】	資金あっ旋利子補給金、資金あっ旋保証料補給金、自治金融預託金、茨城県信用保証協会損失補償寄託金	【平成27年度 事業内容】	資金あっ旋利子補給金、資金あっ旋保証料補給金、自治金融預託金、茨城県信用保証協会損失補償寄託金

■事業費

		H25年度	H26年度	H27年度
財源	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	自主財源	42,604	46,511	41,100
歳入計（千円）		42,604	46,511	41,100
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	19 負担金、補助及び交付金	24,354	26,011	24,500
	21 貸付金	17,000	18,000	15,000
	24 投資及び出資金	1,250	2,500	1,600
歳出計（千円）（A）		42,604	46,511	41,100
（参考）		当初予算額	当初予算額	伸び率(%) 決 -11.6 予 -7.64
職員人工数		0.00	0.00	0.49
職員人件費（B）		0	0	3,896
総事業費（A）＋（B）		42,604	46,511	44,996

■指標

種類	指標名	単位		H25年度	H26年度	H27年度
活動 指標	自治金融利子補給交付件数	件	目標	200.00	300.00	300.00
	自治金融利子補給を支払った件数		実績	334.00	321.00	0.00
	資金あつ旋保証料補給補給件数	件	目標	200.00	150.00	150.00
	保証料補給金を支払った件数		実績	136.00	84.00	0.00
成果 指標	自治金融制度利用件数	件	目標	80.00	100.00	100.00
	商工会に融資を申請した件数		実績	135.00	91.00	0.00
	セーフティネット融資利用件数	件	目標	200.00	100.00	100.00
	取扱い金融機関に融資を申請した件数		実績	79.00	41.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 各種融資制度を活用することにより、市内中小企業の活性化に結びつく。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は、税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 中小企業の健全な経営確保を図り、安定した商業活動を支援するため。
有効性 評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上らない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 景気の変動や社会情勢により、事業者が自ら資金不足により申請するものであるため、近隣市町村の動向を見ながら制度の見直しも必要となる。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 景気が悪い時期に制度を廃止すると、中小企業者が融資を受けづらくなる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 この事業を市が行う理由は、税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 他の商工関係事業と検討することは可能。
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。 (仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 景気や近隣市町村の動向を伺いながら、率、補助額等を見直す。
公平性 評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。 公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 市内の中小企業者が対象となっており、ある程度公平性は保たれている。

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	景気の変動や社会情勢を踏まえ、近隣市町村の動向を伺いながら、内容の変更を検討する。
1次評価 (1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性 (改革・改善策)) 記入者: 根本 和幸 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)		
改革・改善の具体的内容 (改革案・実行計画) 資金幹旋利子補給金の廃止は妥当である。今後、資金幹旋保証料補給金についても変更を検討しながら事業を継続していく。		
2次評価 (2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性 (改革・改善策)) 記入者: 根本 一良 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持)		
担当部長としての意見・考え方 (1次評価者と同じ場合も記入) 内容を検討しながら事業を継続する。		

計画対象年度	平成26年度							事務事業評価シート				
事務事業名	商工振興事業（政策）							事業類型	補助事業			
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令				
			07	01	02	05	政策経費					
総合計画体系	第4章 活力ある産業を育てるまちづくり							総合計画対象	対象			
	第3節 商工業の振興							市民協働	行政の関与			
	[1] 商工業							担当課係等	観光商工課			
1 商業環境の活性化							観光商工担当					
事業期間	継続（ 年度～ ）											

現状把握の部（D0）

【目的】	商工会を中心とした経営指導により、中小企業や商業活動の経営改善を推進する。住宅リフォーム助成事業により市内産業の振興に貢献する。				【関連事業】			
【期待される効果】	商工会を中心とした経営指導により、中小企業の経営安定と住宅リフォーム助成事業活用による市内産業の活性化。				【対象者】	商工業者		
【全体概要】	商工会を中心とした経営指導により中小企業や商業活動の経営改善を、住宅リフォーム助成事業により市内産業の振興に貢献する。				【特記事項】			
【平成25年度 事業内容】	商工振興対策事業費補助金、住宅リフォーム補助金		【平成26年度 事業内容】	商工振興対策事業費補助金、住宅リフォーム補助金		【平成27年度 事業内容】	商工振興対策事業費補助金、住宅リフォーム補助金	

■事業費

		H25年度	H26年度	H27年度
財源	国庫支出金	0	0	1,500
	県支出金	0	0	0
	自主財源	19,053	18,023	19,550
歳入計（千円）		19,053	18,023	21,050
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	13 委託料	0	0	50
	19 負担金、補助及び交付金	19,053	18,023	21,000
歳出計（千円）（A）		19,053	18,023	21,050
（参考）		当初予算額	当初予算額	伸び率(%) 決 16.79 予 16.62
職員人工数		0.00	0.00	0.25
職員人件費（B）		0	0	1,988
総事業費（A）＋（B）		19,053	18,023	23,038

■指標

種類	指標名	単位		H25年度	H26年度	H27年度
活動 指標	経営指導員の相談件数	件	目標	2,500.00	2,500.00	2,500.00
	経営相談と金融制度のあつ旋・税務申告など		実績	1,724.00	1,230.00	0.00
	住宅リフォームの申請件数	件	目標	60.00	60.00	60.00
	住宅リフォーム助成補助金の申請件数		実績	53.00	34.00	0.00
成果 指標	商工会の会員数	人	目標	780.00	780.00	780.00
	商工会に加入している会員数		実績	752.00	752.00	0.00
	住宅リフォーム助成に伴う経済効果	千円	目標	100,000.00	65,000.00	65,000.00
	住宅リフォーム助成申請事業費		実績	62,402.00	73,984.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 商工会を中心とした経営指導により中小企業や商業活動の経営改善を推進し、また、住宅リフォーム助成事業により市内産業の活性化に結びつく。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 商工会は商工法に定められた中小企業のための団体で、市内産業を支援するため経営相談や融資あつ旋業務を行っているため、一定の補助は必要である。
有効性 評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上らない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 必要な補助金であるが、検証、見直しは必要である。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 市内の商業活動が低下する。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 他の商工関係事業と検討することは可能。
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。 (仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 制度内容を見直す。
公平性 評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。 公平・公正になっているか。	<input type="checkbox"/> 公平・公正である <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 住宅リフォーム資金補助金については、予算の範囲内における補助金のため。

今後の改善方策や方向性

改善 方策 ・ 方向 性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	商業活動を支援するため、商工会と連携を図り情報の提供や指導、相談体制の充実に努める。
1次評価 (1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性 (改革・改善策)) 記入者: 根本 和幸 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持)		
改革・改善の具体的内容 (改革案・実行計画) 商工会と連携し情報提供や経営指導を行い商業産業の支援を行う。また、住宅リフォーム補助金について市内事業者へ周知を行い広く利用者を募る。		
2次評価 (2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性 (改革・改善策)) 記入者: 根本 一良 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持)		
担当部長としての意見・考え方 (1次評価者と同じ場合も記入) 事業を継続し、中小企業の経営安定と活力ある地域づくりを推進する。		

事務事業評価シート

計画対象年度	平成26年度							
事務事業名	消費者支援事業（政策）						事業類型	相談・指導
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	
			07	01	02	07	政策経費	根拠法令
総合計画体系	第4章 活力ある産業を育てるまちづくり						総合計画対象	対象
	第3節 商工業の振興						市民協働	市民主体
	[2] 消費生活						担当課係等	観光商工課
事業期間	1 消費者支援の促進							観光商工担当
	継続（年度～）							

現状把握の部（D0）

【目的】 市民の消費生活に関する相談及び苦情を適正かつ迅速に処理し、消費生活の安定及び向上を図る。	【関連事業】
【期待される効果】 消費者保護と安定した消費生活確保	【対象者】 市民
【全体概要】 市民の消費生活に関する相談及び苦情を適正かつ迅速に処理し、消費生活の安定及び向上を図るため、県と連携し、相談体制の充実や消費者に対する情報提供等、悪質商法の撲滅を図る。	【特記事項】
【平成25年度 事業内容】 消費生活啓発グッズ作成・消費生活センター通信作成	【平成26年度 事業内容】 消費生活啓発グッズ作成・消費生活センター通信作成
	【平成27年度 事業内容】 消費生活啓発グッズ作成、消費生活センター通信作成、消費生活センターホームページ更新

■事業費

		H25年度	H26年度	H27年度
財源	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	661
	自主財源	329	1,312	81
歳入計（千円）		329	1,312	742
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	11 需用費	323	1,298	682
	13 委託料	0	0	50
	19 負担金、補助及び交付金	6	14	10
歳出計（千円）（A）		329	1,312	742
（参考）		当初予算額	当初予算額	伸び率(%) 決 -43.4 予 -83.8
職員人工数		0.00	0.00	0.28
職員人件費（B）		0	0	2,226
総事業費（A）＋（B）		329	1,312	2,968

■指標

種類	指標名	単位		H25年度	H26年度	H27年度
活動 指標	消費者行政会議の参加回数	回	目標	5.00	5.00	5.00
	国や県等が開催する会議への参加回数		実績	2.00	4.00	0.00
	消費者相談員研修の参加回数	回	目標	20.00	20.00	20.00
	消費者相談員が研修に参加した回数		実績	11.00	10.00	0.00
成果 指標	消費者トラブル情報の収集・情報提供件数	件	目標	70.00	70.00	70.00
	地域の消費者トラブル情報の収集・提供件数		実績	72.00	68.00	0.00
	消費者生活相談件数	件	目標	230.00	200.00	200.00
	消費生活相談件数		実績	278.00	245.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 消費生活に関する相談及び苦情を適正かつ迅速に処理することにより、市民の消費生活の安定及び向上に結びつく。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は、税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 市民の安定した消費生活を確保するため。
有効性 評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上らない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 県消費生活センターと連携し、苦情や相談に対応する体制を強化し、情報のいち早い提供等、迅速な対応を心掛ける。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 市民の安定した消費生活が確保できない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 この事業を市が行う理由は、税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 類似事業があれば、検討可能。
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。 (仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 内容の見直し。
公平性 評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。 公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 啓発リーフレット、消費生活センター通信等を配布し、知識の普及と情報提供に努めている。

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	相談体制等を充実させ、市民の安定した消費生活を確保する。
1次評価 (1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性 (改革・改善策)) 記入者: 根本 和幸 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持) 改革・改善の具体的内容 (改革案・実行計画) 消費生活センターの内容を充実させるため、相談員を積極的に研修会等へ参加させる。		
2次評価 (2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性 (改革・改善策)) 記入者: 根本 一良 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持) 担当部長としての意見・考え方 (1次評価者と同じ場合も記入) 事業を継続する。		

事務事業評価シート

計画対象年度	平成26年度							
事務事業名	観光PR推進事業（政策）						事業類型	広報・啓発
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	
			07	01	03	03	政策経費	根拠法令
総合計画体系	第4章 活力ある産業を育てるまちづくり						総合計画対象	対象
	第4節 観光の振興						市民協働	市民の関与
	[1] 観光						担当課係等	観光商工課
事業期間	3 観光の推進体制とPRの充実							観光商工係
継続（ 年度～ ）								

現状把握の部（D0）

【目的】 県観光協会等の各種関係機関との連携により、県外も含め広域的に市の観光を周知させるとともに、市ブランド「湖山の宝」の形成による地域地名度を高める。	【関連事業】	
【期待される効果】 県及び観光関連団体、関係市町村との連携を推進し、県外も含め広域的に当市の観光をPRさせる効果がある。	【対象者】 観光関連団体、来客者	
【全体概要】 県及び県観光協会・JR東日本・水郷筑波国定公園近隣の関係市との連携を促進し、県外も含め広域的に市の観光を周知させるためのPRを行うとともに、新たなソーシャルネットワーク活用により、観光交流人口の拡大を図る。	【特記事項】	
【平成25年度 事業内容】 観光PR活動、湖山の宝普及促進、観光ガイドマップ作成、JAF（日本自動車連盟）との連携、広域観光団体との連携	【平成26年度 事業内容】 観光PR活動、湖山の宝普及促進、観光ガイドマップ作成、JAF（日本自動車連盟）との連携、広域観光団体との連携	【平成27年度 事業内容】 観光PR活動、湖山の宝普及促進、観光ガイドマップ作成、JAF（日本自動車連盟）との連携、広域観光団体との連携

■事業費

		H25年度	H26年度	H27年度					
財源	国庫支出金	0	0	0					
	県支出金	0	0	0					
	自主財源	10,945	1,103	1,664					
	歳入計（千円）	10,945	1,103	1,664					
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）					
	08 報償費	19	0	130					
	09 旅費	35	24	30					
	11 需用費	687	771	700					
	12 役務費	102	4	4					
	13 委託料	10,102	304	800					
歳出計（千円）（A）	10,945	1,103	1,664						
（参考）	当初予算額	0	当初予算額	16,737	伸び率(%)	決	50.86	予	-90.0
職員人工数	0.44	0.44	0.44						
職員人件費（B）	3,547	3,394	3,498						
総事業費（A）＋（B）	14,492	4,497	5,162						

■指標

種類	指標名	単位		H25年度	H26年度	H27年度
活動 指標	観光PR回数	回	目標	10.00	10.00	10.00
	県内外で観光PRを行った回数		実績	10.00	10.00	0.00
	観光PR時のパンフレット配布枚数	枚	目標	10,000.00	10,000.00	10,000.00
	観光PR時のパンフレット配布枚数		実績	20,000.00	20,000.00	0.00
成果 指標	市観光協会のホームページ閲覧数	件	目標	0.00	0.00	53,000.00
	市観光協会のホームページ閲覧者数		実績	0.00	0.00	0.00
	湖山の宝パスポート申請件数	件	目標	300.00	300.00	100.00
	湖山の宝パスポート申請した件数		実績	98.00	53.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 県・観光関連団体、関係市町村との連携により、広域的に当市の観光を周知することができるため。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 当市の観光情報発信することが重要であるため。
	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上らない理由はあるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 当市の観光資源、特産品の周知をするイベントにより成果が向上している。
有効性 評価	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 当市の観光PRをすることは重要な役割があるため。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 他に類似事業がないため。
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。 (仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 観光協会を核として関係団体との連携が必要になる。
公平性 評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。 公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 観光パンフレットの配布、観光PR等により情報発信に努めている。

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	当市の観光資源の情報を発信していく。
1次評価 (1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性 (改革・改善策)) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持)		記入者: 根本 和幸
改革・改善の具体的内容 (改革案・実行計画) 観光帆引き船を含むすべての観光資源の情報を発信する。		
2次評価 (2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性 (改革・改善策)) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持)		記入者: 根本 一良
担当部長としての意見・考え方 (1次評価者と同じ場合も記入) 事業を継続し、当市の観光資源の情報を発信する。		

計画対象年度	平成26年度		事務事業評価シート					事業類型	広報・啓発		
事務事業名	都市農村交流事業（政策）							根拠法令			
予算科目	会計	01	款 07	項 01	目 03	事業 05	要求区分 政策経費				
総合計画体系	第4章 活力ある産業を育てるまちづくり							総合計画対象	対象		
	第1節 農林業の振興							市民協働	市民の関与		
	[1] 農林業							担当課係等	観光商工課		
事業期間	4 農業環境の活性化							観光商工係			
継続（ 年度～ ）											

現状把握の部 (D0)

【目的】	市特産物である生鮮野菜や水産加工品の販売を行い、地域産業の活性化に努めると共に都市を視野に入れた農水産物の販路拡大と観光振興を図る。		【関連事業】
【期待される効果】	市外及び県外へかすみがうら市の認知度、観光、特産品をPRすることができる。		【対象者】 来客者
【全体概要】	板橋区民を対象とした当市への日帰りツアーの受入れや都市部へのイベント参加を通じて、都市との交流を図り市内への誘客を図る。また、消費拡大を図るため様々なアイデアを駆使する。		【特記事項】
【平成25年度 事業内容】	農水産物消費拡大の推進、バスツアー、板橋交流事業、カシマフレンドリーデイズ、活性化センター借地料	【平成26年度 事業内容】	農水産物消費拡大の推進、バスツアー、板橋交流事業、カシマフレンドリーデイズ、活性化センター借地料
【平成27年度 事業内容】	農水産物消費拡大の推進、バスツアー、板橋交流事業、カシマフレンドリーデイズ、活性化センター借地料 活性化センター生産物直売所の増築工事及び実施設計業務委託		

■事業費

		H25年度	H26年度	H27年度
財源	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	自主財源	0	3,758	3,165
歳入計（千円）		0	3,758	3,165
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	13 委託料	0	0	486
	15 工事請負費	0	3,758	2,679
歳出計（千円）（A）		0	3,758	3,165
（参考）		当初予算額	0	当初予算額
職員人工数		0.00	0.39	伸び率(%) 決 -15.7 予 271.9
職員人件費（B）		0	3,008	3,101
総事業費（A）＋（B）		0	6,766	6,266

■指標

種類	指標名	単位		H25年度	H26年度	H27年度
活動 指標	増築工事設計委託	回	目標	0.00	0.00	1.00
	活性化センター増築工事実施設計委託		実績	0.00	0.00	0.00
	現場監督業務	回	目標	0.00	0.00	10.00
	関係機関との打合せ		実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	増築工事	回	目標	0.00	0.00	1.00
	活性化センターの増築工事		実績	0.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 市特産物（生鮮野菜・水産加工品）の販売を行うことで地域産業の活性化になる。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 本市の認知度が深まり、市の観光・特産品のPRに繋がる。
有効性 評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上らない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 特産品を検証しながら、新たな商品開発が必要になる。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 地域産業、農水産物の販路に影響がある。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 類似の事業があるが、時間が必要となる。
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。 (仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 都市部との交流を深めるうえで様々なアイデアと独自の観光資源開発が必要となる。
公平性 評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。 公平・公正になっているか。	<input type="checkbox"/> 公平・公正である <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 特産品を検証しながら、新たな商品開発が必要。

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	社会情勢や必要な変化を考慮すると特産品を検証しながら、新たな商品開発が必要。
1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持）		記入者：根本 和幸
改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 新たな企画や商品開発を行う。		
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持）		記入者：根本 一良
担当部長としての意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 都市部との交流を深めるよう推進する。		

事務事業評価シート

計画対象年度	平成26年度							
事務事業名	観光交流推進事業（政策）						事業類型	イベント・行事・各種講座教室等
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	
			07	01	03	07	政策経費	根拠法令
総合計画体系	第4章 活力ある産業を育てるまちづくり						総合計画対象	対象
	第4節 観光の振興						市民協働	行政の関与
	[1] 観光						担当課係等	観光商工課
2 観光資源の活用						観光商工係		
事業期間	継続（年度～）							

現状把握の部（D0）

【目的】 観光協会が実施する諸事業を補助することにより、市の観光情報の提供や知名度を高めることを目指す。また、毎年実施されるかすみがうら祭・あゆみ祭・帆引き船フェスタを市民の交流とふるさと意識の高揚の場とする。	【関連事業】
【期待される効果】 県内外へ当市の観光及び特産品をPRすることで市の認知度が深まる。祭やイベントを開催することで交流人口の増が図られる。	【対象者】 来客者
【全体概要】 帆引き船の操業や各種イベント（かすみがうら祭・あゆみ祭り・帆引きフェスタ）を開催し、文化団体の発表や地場産品等の展示販売を行うことにより、地域文化の創出と産業の振興を図る。	【特記事項】
【平成25年度 事業内容】 帆引き船フェスタ会場設営、観光協会補助金、かすみがうら祭実行委員会補助金、果樹観光協会補助金	【平成26年度 事業内容】 帆引き船フェスタ会場設営、観光協会補助金、かすみがうら祭実行委員会補助金、果樹観光協会補助金
【平成27年度 事業内容】 帆引き船フェスタ会場設営、観光協会補助金、かすみがうら祭実行委員会補助金、果樹観光協会補助金	

■事業費

		H25年度	H26年度	H27年度
財源	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	自主財源	19,606	18,862	18,980
	歳入計（千円）	19,606	18,862	18,980
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	11 需用費	12	0	10
	19 負担金、補助及び交付金	19,594	18,862	18,970
歳出計（千円）（A）	19,606	18,862	18,980	
（参考）	当初予算額	0	当初予算額	18,980
職員人工数	1.05	1.05	1.05	
職員人件費（B）	8,463	8,099	8,348	
総事業費（A）＋（B）	28,069	26,961	27,328	

■指標

種類	指標名	単位		H25年度	H26年度	H27年度
活動 指標	観光イベントの開催	回	目標	20.00	20.00	20.00
	観光の周知拡大と市内の魅力を伝えるためのイベントを開催		実績	23.00	20.00	0.00
	祭広報ポスター	枚	目標	400.00	400.00	400.00
	祭ポスターによる周知拡大		実績	400.00	400.00	0.00
成果 指標	交流人口	人	目標	70,000.00	70,000.00	70,000.00
	かすみがうら祭、あゆみ祭り、帆引き船フェスタの来場者数		実績	69,000.00	64,000.00	0.00
	祭に関する苦情件数		目標	0.00	0.00	0.00
	苦情件数		実績	3.00	3.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 祭やイベントは、市民の認知度が高いため交流人口の増が図られている。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 市民の認知度が高い。
有効性 評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上らない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 祭・イベントは、高額な費用を要するため、費用の削減が必要である。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 市民の認知度が高く、宣伝効果があるため。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 他に類似事業がないため。
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。 (仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 民間団体等との連携により費用削減につながる。
公平性 評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。 公平・公正になっているか。	<input type="checkbox"/> 公平・公正である <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 市主導イベントから民主導のイベントに移行する余地がある。

今後の改善方策や方向性

改善 方策 ・ 方向 性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	祭、イベントは、効果を検証し改善及び費用削減に努めるべきである。
1次評価 (1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性 (改革・改善策)) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持)		記入者: 根本 和幸
改革・改善の具体的内容 (改革案・実行計画) 各種イベントは、効果を検証して、改善またはコスト削減に努める。		
2次評価 (2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性 (改革・改善策)) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持)		記入者: 根本 一良
担当部長としての意見・考え方 (1次評価者と同じ場合も記入) 事業を継続する。		

計画対象年度	平成26年度							事務事業評価シート				
事務事業名	雪入ふれあいの里公園等管理運営事業（政策）							事業類型	管理・運営			
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令				
			07	01	03	09	政策経費					
総合計画体系	第4章 活力ある産業を育てるまちづくり							総合計画対象	対象			
	第4節 観光の振興							市民協働	市民の関与			
	[1] 観光							担当課係等	観光商工課			
1 観光拠点の整備							観光商工係					
事業期間	継続（ 年度～ ）											

現状把握の部（D0）

【目的】	身近な自然環境の中で昆虫や野鳥観察及び植物とのふれあい、これらの観察を通じて自然への理解を深める。				【関連事業】
【期待される効果】	自然環境の豊かな公園で自然とのふれあいを求める来園者が多く、癒しの空間となっている。				【対象者】
					来客者
【全体概要】	雪入ネイチャーセンター及び三ツ石森林公園の維持管理を指定管理者に委託することで、事業の実施また当該施設の有効活用を図る。				【特記事項】
【平成25年度 事業内容】	【平成26年度 事業内容】		【平成27年度 事業内容】		
指定管理者委託	指定管理者委託		指定管理者委託		

■事業費

		H25年度	H26年度	H27年度
財源	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	自主財源	19,720	19,932	21,175
歳入計（千円）		19,720	19,932	21,175
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	08 報償費	0	12	0
	13 委託料	19,720	19,920	21,175
歳出計（千円）（A）		19,720	19,932	21,175
（参考）		当初予算額	当初予算額	伸び率(%) 決 6.23 予 6.30
職員人工数		0.33	0.33	0.33
職員人件費（B）		2,660	2,546	2,624
総事業費（A）＋（B）		22,380	22,478	23,799

■指標

種類	指標名	単位		H25年度	H26年度	H27年度
活動 指標	事業報告書の確認	回	目標	12.00	12.00	12.00
	指定管理者からの月報と四半期報の確認		実績	12.00	12.00	0.00
	施設のモニタリング調査	回	目標	24.00	24.00	24.00
	協定書に定められた水準にあるか立入調査及び指導を実施する。		実績	24.00	24.00	0.00
成果 指標	公園に関する苦情件数	件	目標	0.00	0.00	0.00
	苦情件数		実績	0.00	0.00	0.00
	講座受講者数	人	目標	300.00	300.00	300.00
	しぜん教室の受講者数		実績	154.00	535.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 自然とのふれあいを求める来園者が多く、自然保護の普及及び高揚が図られている。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は、税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 自然豊かな公園で来園者にとって癒しの空間であり、講座受講者が増加している。
	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上まらない理由はあるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 自然教室、新たなイベント等により成果は、向上している。
有効性 評価	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 自然とのふれあいを求める来園者に影響がある。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 この事業を市が行う理由は、税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 類似の指定管理施設がないため。
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。 (仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 現在も活用しているボランティアスタッフを更に充実して活用することで可能。
公平性 評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。 公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 利用者増を図っており、地域の活性化に貢献している。

今後の改善方策や方向性

改善 方策 ・ 方向 性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	施設の利用促進と観光スポットとしての一層の集客を図るため、新規イベントを企画していく必要がある。
1次評価 (1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性 (改革・改善策)) 記入者: 根本 和幸 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持) 改革・改善の具体的内容 (改革案・実行計画) 指定管理者と連携して、利用者の増を図り地域の活性化に貢献する。		
2次評価 (2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性 (改革・改善策)) 記入者: 根本 一良 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持) 担当部長としての意見・考え方 (1次評価者と同じ場合も記入) 指定管理者との連携に努める		

事務事業評価シート

計画対象年度	平成26年度							
事務事業名	農山漁村活性化推進事業（政策）						事業類型	管理・運営
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	
			07	01	03	11	政策経費	根拠法令
総合計画体系	第4章 活力ある産業を育てるまちづくり						総合計画対象	対象
	第4節 観光の振興						市民協働	行政主体
	[1] 観光						担当課係等	観光商工課
1 観光拠点の整備								観光商工係
事業期間	継続（年度～）							

現状把握の部（D0）

【目的】 魅力ある農山漁村を創造し、農林漁業体験施設等を整備することで、都市と農村の交流及び定住等の促進を図り、農山漁村の活性化を目指す。	【関連事業】	
【期待される効果】 計画区域である志戸崎地区は、霞ヶ浦を背景に地域資源として親水空間の創造と農水産業振興との両輪によって活性化が図れる。	【対象者】 来客者	
【全体概要】 地域資源を十分に活用し、都市住民との交流拠点として、農水産物販売施設、湖上レジャー関連施設等を整備することで交流人口を拡大し、観光産業の活性化を図る。	【特記事項】	
【平成25年度 事業内容】 農水産物販売等施設及び多目的栈橋の基本設計及び実施設計業務委託	【平成26年度 事業内容】 農水産物販売等施設新築 （鉄骨造2階建て/延面積600.11㎡） 多目的栈橋整備 （L=40m/W=2.56m）	【平成27年度 事業内容】 農水産物販売施設及びレストランの管理運営

■事業費

		H25年度	H26年度	H27年度					
財源	国庫支出金	2,450	76,500	0					
	県支出金	0	0	0					
	自主財源	2,736	90,136	0					
	歳入計（千円）	5,186	166,636	0					
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）					
	12 役員費	230	109	0					
	13 委託料	4,956	3,456	0					
	15 工事請負費	0	152,810	0					
	18 備品購入費	0	10,013	0					
	19 負担金、補助及び交付金	0	248	0					
歳出計（千円）（A）	5,186	166,636	0						
（参考）	当初予算額	0	当初予算額	161,288	伸び率(%)	決	皆減	予	皆減
職員人工数	0.35	0.35							0.35
職員人件費（B）	2,821	2,700							2,783
総事業費（A）＋（B）	8,007	169,336							2,783

■指標

種類	指標名	単位		H25年度	H26年度	H27年度
活動 指標	基本設計及び実施設計委託	回	目標	1.00	0.00	0.00
	農水産物販売等施設の基本設計及び実施設計		実績	1.00	0.00	0.00
	関係機関との打合せ		目標	10.00	10.00	0.00
			実績	10.00	10.00	0.00
成果 指標	食堂を兼ね備えた農水産物等販売施設		目標	0.00	1.00	0.00
			実績	0.00	1.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 志戸崎地区活性化計画により、霞ヶ浦を背景に地域資源として親水空間の創造と農水産業振興により、交流人口の拡大が図られる。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 観光産業の発展につながる
有効性 評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上らない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 出店者の選定により、早期に開業しなければならない。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 現時点で開業していないので判断できない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 上記に同じで開業してからの判断になる。
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。 (仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 現時点で開業していないので判断できない。
公平性 評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。 公平・公正になっているか。	<input type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 現時点で開業していないので判断できない。

今後の改善方策や方向性

改善 方策・ 方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	事業を推進して観光産業の発展を図ることが重要であるが、適切な事業者により早期に開業しなければならない。
1次評価 (1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性 (改革・改善策)) 記入者: 根本 和幸 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持) 改革・改善の具体的内容 (改革案・実行計画) 事業を推進して、観光産業の発展を図る。		
2次評価 (2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性 (改革・改善策)) 記入者: 根本 一良 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持) 担当部長としての意見・考え方 (1次評価者と同じ場合も記入) 事業を推進する。		

事務事業評価シート

計画対象年度	平成26年度							
事務事業名	観光サイクリング事業（政策）						事業類型	イベント・行事・各種講座教室等
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	
			07	01	03	13	政策経費	根拠法令
総合計画体系	第4章 活力ある産業を育てるまちづくり						総合計画対象	対象
	第4節 観光の振興						市民協働	市民の関与
	[1] 観光						担当課係等	観光商工課
事業期間	継続（年度～）							観光商工係

現状把握の部（D0）

【目的】 高まるスポーツ参加型イベントのニーズに対応する自動車耐久レースを切り口に、全国のサイクリストに当該地域の魅力をアピールして観光交流人口の増大を図る。	【関連事業】
【期待される効果】 全国から参加者が集まるイベントを展開することで観光や特産品を全国にPRできる。	【対象者】 サイクリスト及び来客者
【全体概要】 ～レイクサイドサイクルフェスタ～「かすみがうらエンデュロ」を開催して、全国に向けて市の観光・特産品をPRする。全国から来場する方々や市内外見学者のため、会場設営委託、警備委託、シャトルバス委託料を計上する。	【特記事項】
【平成25年度 事業内容】 参加者記念品、会場設営委託、警備委託	【平成26年度 事業内容】 参加者記念品、会場設営委託、警備委託
【平成27年度 事業内容】 参加者記念品、会場設営委託、警備委託	

■事業費

		H25年度	H26年度	H27年度
財源	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	自主財源	4,584	4,263	8,289
歳入計（千円）		4,584	4,263	8,289
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	08 報償費	544	198	300
	11 需用費	0	0	200
	13 委託料	4,040	4,065	4,459
	15 工事請負費	0	0	2,000
	18 備品購入費	0	0	1,330
歳出計（千円）（A）		4,584	4,263	8,289
（参考）		当初予算額	当初予算額	伸び率(%) 決 94.44 予 88.21
職員人工数		0.73	0.73	0.73
職員人件費（B）		5,884	5,631	5,804
総事業費（A）＋（B）		10,468	9,894	14,093

■指標

種類	指標名	単位		H25年度	H26年度	H27年度
活動 指標	観光PR時のパンフレット配布枚数	枚	目標	1,000.00	2,000.00	2,000.00
	大会時における観光PR時のパンフレット配布枚数		実績	2,000.00	2,000.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	参加者人数	人	目標	1,000.00	1,000.00	1,000.00
	レースに参加する人数		実績	975.00	1,301.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 全国からの参加者が集まるイベントのため、観光情報や特産品をPRすることができる。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は、税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 サイクルイベントは、希少のため。
有効性 評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上らない理由はあるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 多くの参加者があり、グルメフェス開催により来場者から喜びの声がある。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 全国からの参加者が集まる希少なイベントを展開しているため。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 この事業を市が行う理由は、税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 他に類似イベントがないため。
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。 (仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 大会運営費用を下げるとともに、財源確保のためスポンサー募集に努める。
公平性 評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。 公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 全国的にもサイクルイベントを開催している自治体が少ないため。

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	自転車レースのため、交通安全対策面から多くのボランティア団体との連携が必要である。
1次評価 (1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性 (改革・改善策))		記入者: 根本 和幸
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持)		
改革・改善の具体的内容 (改革案・実行計画) イベント開催に伴い各種団体と連携した市のPRに努める。		
2次評価 (2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性 (改革・改善策))		記入者: 根本 一良
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持)		
担当部長としての意見・考え方 (1次評価者と同じ場合も記入) 事業を推進する。		

計画対象年度	平成26年度		事務事業評価シート					事業類型	管理・運営			
事務事業名	あゆみ庵管理運営事業（政策）							根拠法令				
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分					
			07	01	04	08	政策経費					
総合計画体系	第4章 活力ある産業を育てるまちづくり							総合計画対象	対象			
	第4節 観光の振興							市民協働	市民の関与			
	[1] 観光							担当課係等	観光商工課			
事業期間	継続（年度～）							観光商工係				

現状把握の部（D0）

【目的】	市民や観光客の福祉増進、教養の向上及び余暇の充実に資するため、一息つく憩いの場を提供し、水族館や資料館などへの周遊性を高める。		【関連事業】	
【期待される効果】	貴重な茶室専用の施設として、市民及び観光客の余暇の充実に資するため重要な役割を持つ。		【対象者】	来客者
【全体概要】	あゆみ庵を有効に活用するため、維持管理費と運営委託の費用を計上する。		【特記事項】	
【平成25年度 事業内容】	あゆみ庵運営事業		【平成26年度 事業内容】	あゆみ庵運営事業
			【平成27年度 事業内容】	あゆみ庵運営事業

■事業費

		H25年度	H26年度	H27年度
財源	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	自主財源	746	472	300
歳入計（千円）		746	472	300
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	11 需用費	142	115	0
	12 役務費	49	57	0
	13 委託料	555	300	300
歳出計（千円）（A）		746	472	300
（参考）		当初予算額 0	当初予算額 514	伸び率(%) 決 -36.4 予 -41.6
職員人工数		0.21	0.21	0.21
職員人件費（B）		1,693	1,620	1,670
総事業費（A）＋（B）		2,439	2,092	1,970

■指標

種類	指標名	単位		H25年度	H26年度	H27年度
活動 指標	あゆみ庵の見回り回数	回	目標	50.00	50.00	50.00
	職員が実施する年間の見回り回数		実績	52.00	54.00	0.00
	あゆみ庵借席件数	件	目標	3.00	3.00	3.00
	一般の人があゆみ庵を利用（借用）した件数		実績	2.00	0.00	0.00
成果 指標	あゆみ庵に関する苦情件数	件	目標	0.00	0.00	0.00
	苦情件数		実績	0.00	0.00	0.00
	あゆみ庵来庵者	人	目標	500.00	500.00	500.00
	あゆみ庵来庵者数		実績	379.00	292.00	0.00

評価の部（SEE）

目的妥当性 評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 貴重な茶室専用の施設であり、市民・観光客の余暇の充実に重要な役割を持っている。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は、税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 市民の福祉増進、教養の向上及び余暇の充実が図られているため。
有効性 評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上がらない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 運営の業務委託費の見直しは、必要である。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 市民・観光客の福祉増進、教養の向上及び余暇の充実に影響がある。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 この事業を市が行う理由は、税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 他に類似施設がない。
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。 (仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 運営の見直し。
公平性 評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。 公平・公正になっているか。	<input type="checkbox"/> 公平・公正である <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 新たな手法により、利用者促進の検討が必要。

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	利用者増のために、他団体との連携により和の体験イベントなどを展開する。
1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持）		記入者：根本 和幸
改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 事業を継続する。		
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持）		記入者：根本 一良
担当部長としての意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 事業を継続する。		

計画対象年度	平成26年度							事務事業評価シート			
事務事業名	歩崎公園管理運営事業（政策）							事業類型	管理・運営		
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令			
			07	01	04	04	政策経費				
総合計画体系	第4章 活力ある産業を育てるまちづくり							総合計画対象	対象		
	第4節 観光の振興							市民協働	行政の関与		
	[1] 観光							担当課係等	観光商工課		
事業期間	継続（年度～）								観光商工係		

現状把握の部 (D0)

【目的】	市内の家族連れをはじめ、近隣市民の憩いの場を提供し、誘客に努めるため、観光との連携により観光産業の振興を図る。		【関連事業】
【期待される効果】	市民及び観光客にとっての憩いの場として、様々な機能を兼ね備えており、利用者にとって重要な役割を果たしている。		【対象者】 来各者
【全体概要】	公園（歩崎園地・森林公園・あゆみ庵・民家園・改善センター・艇庫）の清掃作業業者委託・修繕・光熱水費及び土地借上料である。		【特記事項】
【平成25年度 事業内容】	【平成26年度 事業内容】	【平成27年度 事業内容】	
公園（歩崎園地・森林公園・あゆみ庵・民家園・改善センター）の維持管理	公園（歩崎園地・森林公園・あゆみ庵・民家園・改善センター）の維持管理	公園（歩崎園地・森林公園・あゆみ庵・民家園・改善センター）の維持管理	

■事業費

		H25年度	H26年度	H27年度
財源	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	自主財源	12,824	12,711	8,000
歳入計（千円）		12,824	12,711	8,000
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	11 需用費	1,476	1,372	0
	13 委託料	7,151	7,142	8,000
	14 使用料及び賃借料	4,197	4,197	0
歳出計（千円）（A）		12,824	12,711	8,000
（参考）		当初予算額 0	当初予算額 13,749	伸び率(%) 決 -37.0 予 -41.8
職員人工数		0.00	0.00	0.42
職員人件費（B）		0	0	3,339
総事業費（A）＋（B）		12,824	12,711	11,339

■指標

種類	指標名	単位		H25年度	H26年度	H27年度
活動 指標	歩崎公園の見回り回数	回	目標	50.00	50.00	50.00
	職員が実施する年間の見回り回数		実績	52.00	58.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	苦情件数	件	目標	0.00	0.00	0.00
	公園管理に対する苦情件数		実績	0.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 市民・観光客にとって憩いの場となっており、利用者には重要な役割を持つ施設である。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 魅力ある憩いの場を市民・観光客に提供しているため。
有効性 評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上がらない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 管理費の見直しは、必要になる。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 清掃管理を怠ることで景観が保てない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 歩崎周辺施設の管理事業のため。
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。 (仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 効率よく計画的な清掃管理することで費用削減につながる。
公平性 評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。 公平・公正になっているか。	<input type="checkbox"/> 公平・公正である <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 管理費及び業者選定等の見直しは、必要である。

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	公園の清掃は、欠かすことはできないので管理費・業者選定の見直しは必要である。
1次評価 (1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性 (改革・改善策)) 記入者: 根本 和幸 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持) 改革・改善の具体的内容 (改革案・実行計画) 公園の清掃管理は、効率よく計画的に進める。		
2次評価 (2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性 (改革・改善策)) 記入者: 根本 一良 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持) 担当部長としての意見・考え方 (1次評価者と同じ場合も記入) 事業を継続する。		

計画対象年度	平成26年度		事務事業評価シート					事業類型	管理・運営		
事務事業名	水族館管理運営事業 (政策)						根拠法令				
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分 政策経費				
			07	01	04	06					
総合計画体系	第4章 活力ある産業を育てるまちづくり						総合計画対象	対象			
	第4節 観光の振興						市民協働	行政の関与			
	[1] 観光						担当課係等	観光商工課			
事業期間	継続 (年度～)									観光商工係	

現状把握の部 (D0)

【目的】	観光レクリエーション基地あるいは、広域観光ルートの拠点として、霞ヶ浦を始め、淡水に生息する珍しい魚類等を展示・飼育することにより、自然保護と動物福祉に対する理解を深めると共に、学術及び教育・文化の発展に寄与する。		【関連事業】
【期待される効果】	霞ヶ浦の淡水に生息する珍しい魚類等を展示・飼育することで自然保護と動物に対する理解を深めるとともに、教育・文化の発展につながっている。		【対象者】 来客者
【全体概要】	霞ヶ浦の魚類や世界の珍しい生き物を飼育展示することにより、自然保護と動物福祉に対する理解を深めるとともに、学術及び教育・文化の発展に寄与する。		【特記事項】
【平成25年度 事業内容】	【平成26年度 事業内容】	【平成27年度 事業内容】	
指定管理者委託	指定管理者委託 水族館改修設計委託	指定管理者委託、水族館及びアクアラビ リンス改修工事	

■事業費

		H25年度	H26年度	H27年度
財源	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	自主財源	7,705	9,106	7,410
歳入計 (千円)		7,705	9,106	7,410
歳出内訳	節 (番号 + 名称)	金額 (千円)	金額 (千円)	金額 (千円)
	11 需用費	477	0	0
	13 委託料	7,228	8,744	7,410
	18 備品購入費	0	362	0
歳出計 (千円) (A)		7,705	9,106	7,410
(参考)		当初予算額	0	当初予算額
職員人工数		0.33	0.33	伸び率(%) 決 -18.6 予 -21.2
職員人件費 (B)		2,660	2,546	0.33
総事業費 (A) + (B)		10,365	11,652	2,624
				10,034

■指標

種類	指標名	単位		H25年度	H26年度	H27年度
活動 指標	事業報告書の確認	回	目標	12.00	12.00	12.00
	指定管理者からの月報及び四半期報告の確認		実績	12.00	12.00	0.00
	施設のモニタリング調査	件	目標	12.00	12.00	12.00
	協定書に定められた水準にあるか、立入調査及び指導		実績	12.00	12.00	0.00
成果 指標	水族館来館者数	人	目標	35,000.00	35,000.00	35,000.00
	水族館への来館者数		実績	34,197.00	35,955.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 霞ヶ浦の淡水に生息する珍しい魚類の展示・飼育により、自然保護に対する理解が深まり、教育・文化の発展に重要な役割を果たしている。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 霞ヶ浦の淡水に生息する珍しい魚類等を展示・飼育することで学術及び教育・文化の発展に寄与している。
有効性 評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上がらない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 指定管理者と連携して集客増を図る。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 自然保護に対する理解、教育や文化が発展するうえで役割を果たしているため。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 他に類似施設がないため。
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。 (仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 指定管理者と市で十分に創意工夫等の内容協議することで費用削減に繋がる。
公平性 評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。 公平・公正になっているか。	<input type="checkbox"/> 公平・公正である <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 社会情勢や必要な変化を考慮して来館者の増加を図る必要がある。

今後の改善方策や方向性

改善 方策・ 方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	指定管理者と市が十分に創意工夫の内容協議を重ね利用者の増を図る。来園者の児童生徒には、飼育などの体験型学習も有効である。
1次評価 (1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性 (改革・改善策)) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持)		記入者: 根本 和幸
改革・改善の具体的内容 (改革案・実行計画) 指定管理者と連携して集客の増を図る。		
2次評価 (2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性 (改革・改善策)) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持)		記入者: 根本 一良
担当部長としての意見・考え方 (1次評価者と同じ場合も記入) 指定管理者と連携に努める。		